

## 健康サポート薬局及び山口県健康エキスパート薬剤師について

### 1 背景

健康維持・増進への取組の支援及び受診が必要な県民を早期に医療につなげるため、薬学的な健康サポート※<sup>1</sup>を行う薬局※<sup>2</sup>や薬剤師の「見える化」が課題

※1 身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うこと。

※2 健康サポート薬局の届出数：38 薬局（R3. 7. 31 時点）

県は、医療・健康・保健等から総合的に県民の支援を行う薬剤師を「山口県健康エキスパート薬剤師」として登録する制度を令和2年度から開始  
・登録数：192人（R3. 7. 31 時点）

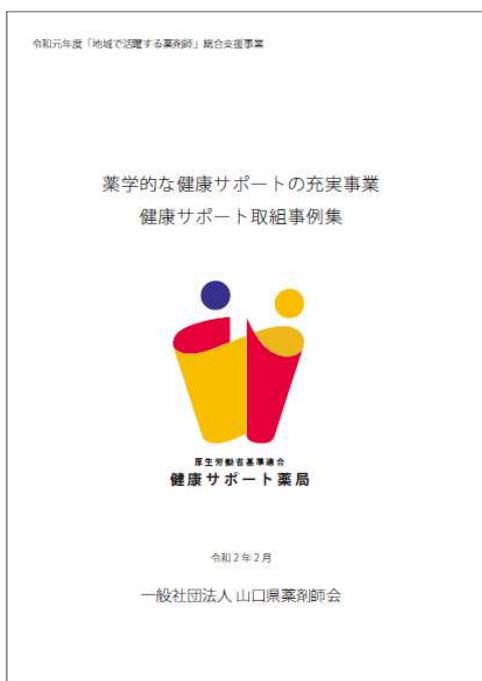
### 2 取組内容

#### ○ 山口県健康エキスパート薬剤師の登録

- ・健康エキスパート薬剤師の登録
- ・資質向上研修の実施

#### ○ 山口県健康エキスパート薬剤師による情報発信の強化

- ・県民向け健康講座などの活動をホームページにより情報発信
- ・県民向けオンライン講習会の実施



健康サポート取組事例集



県民向け啓発ポスター

## 本県における災害時の医薬品供給体制について

### 1 背景

災害時、全国から大量に送られる医薬品の整理・保管管理や、救護所毎に生じる医薬品過不足への対応が課題

救護所や救援物資が集積される医薬品等集積所等において、医薬品の需給調整等を担う「災害薬事コーディネーター」等(薬剤師)を設置

### 2 取組内容

#### ○災害時に活動する薬剤師の育成

- ・災害薬事コーディネーター(薬剤師) 24名 (8医療圏各3名)
- ・救護所等で医療救護活動を支援する薬剤師 88名

#### ○災害薬事コーディネーター(薬剤師)を活用した医薬品供給体制の確保

- ・関係機関との連携体制の構築
- ・県災害時医薬品等供給マニュアルの改正 (R3.3)

#### ○県民向け啓発資材の作成・配布

県民が行う平時からの準備などを啓発 ※ポスター6,000枚  
(ポスター配布場所：病院、診療所、薬局、スーパー)

#### ○避難所等において活動する薬剤師用ビブスの作成

避難所等で様々な資格者が活動する中で、薬剤師であることを見える化



県民向け啓発ポスター



薬剤師活動用ビブス

## 「STOP！大麻！」対策強化事業について

### 1 背景

全国での大麻検挙者数は増加の一途で、令和2年の検挙者は過去最多  
 県内の大麻検挙者数は、これまで減少傾向であったものの、令和2年は  
 激増（R1：4人 → R2：15人 275%増）

大麻検挙者の大半が20歳代以下で、多くはTwitter等のSNSを利用して入手

コロナ禍の中、SNS利用者が急増し、さらなる乱用者の拡大が懸念

・Twitter等のSNSを活用した啓発を実施

### 2 取組内容、事業内容

#### ○SNSを活用した警告動画・画像の配信

- ・SNSにおいて、隠語等の大麻関連キーワードを検索・投稿する者に対し、警告動画・画像を配信し、乱用への一歩を未然に防止

#### ○SNSを活用した県民調査

- ・SNS利用者を対象に、アンケート調査を実施し、大麻に対する県民意識の実態を把握  
 （大麻について調べた経験、誘われた経験、有害・違法性の認識 等）

#### ○事業成果の分析・検証

- ・警察、中国四国厚生局等で構成する連携会議を設置し、アンケート調査結果を分析・検証し、より効果的な抑止対策を検討

（警告動画・画像配信）



大麻の隠語等を検出

動画・画像で警告

大麻の違法性等を強く訴えかけ、大麻乱用を未然に防止

## 献血インフルエンサー育成事業について

### 1 背景

山口県の 10、20 歳代の献血者数は減少傾向が継続していて、将来に渡って血液を確保できるか懸念

アンケート結果では、高校生の初回献血のきっかけは、「友人等に誘われた」がトップ

・「背中を押してくれる友人」を育てることが有効

### 2 取組内容、事業内容

#### ○献血インフルエンサーの育成

- ・高校生研修交流会を現地集合とウェブ参加のハイブリッド形式で実施
- ・採血車等での模擬献血体験、高校生同士の討議（意見交換）等を実施

#### ○献血インフルエンサーの活動

- ・高校の内外で、実際の献血行動や啓発活動にチャレンジ

(献血インフルエンサー オンラインサミットの実施状況)



## 医薬品産業振興に係る人材育成の取組について

### 1 山口県の医薬品産業の特徴

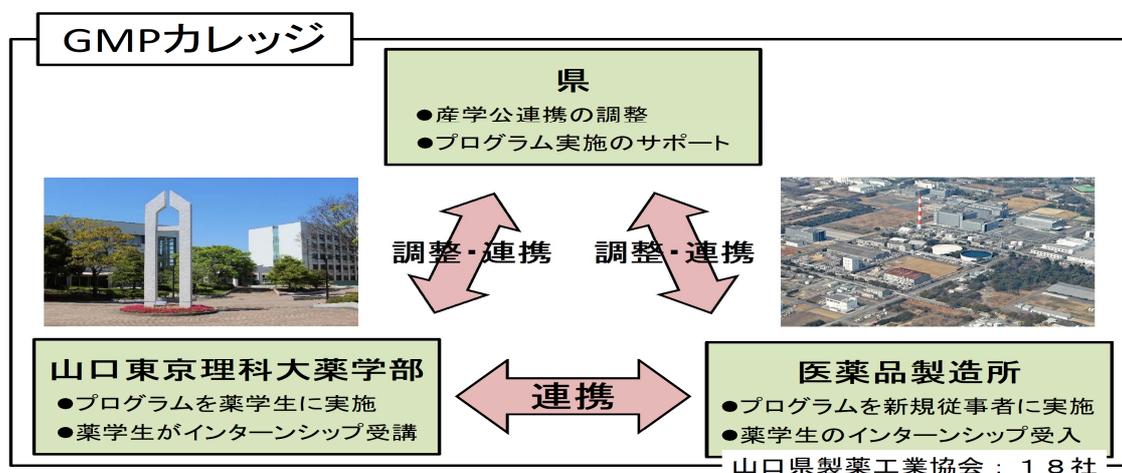
- 大手の製薬企業や化学メーカーの工場が立地
- 医療用医薬品や医薬品の有効成分（原薬）の生産金額が全国トップレベル
  - ✓ 医薬品生産金額 全国7位（4,450億円、令和元年実績）
  - ✓ 医薬品原薬出荷金額 全国1位（715億円、平成30年実績）

### 2 取組内容、事業内容

- 製薬工場は厳格な基準（GMP※）の遵守が必要
- 本県、医薬品産業力の更なる強化を図るため、GMPに関わる人材の育成や確保を目的として、産学公連携のGMPカレッジを立上げ
- 令和元年度から薬学生や新規従事者を対象とした品質管理のワークショップ等を開始（やまぐち維新プラン重点事業：GMP活用型医薬品産業振興事業）

※GMP：Good Manufacturing Practice

高品質の医薬品を安定して製造するために、原材料の受入れから製造、出荷までの全工程を管理する基準



### 《令和2年度の取組事例》

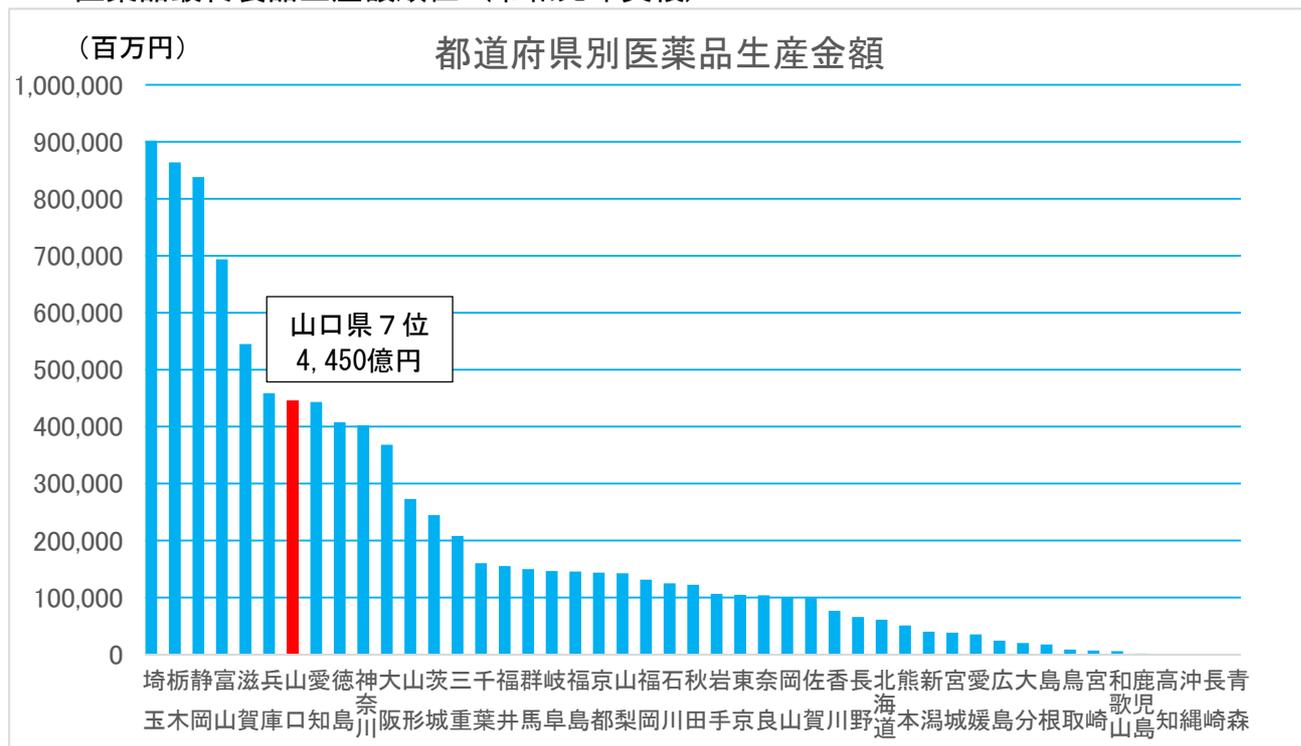


薬学生：ラボ工場見学等  
参加：延べ161名



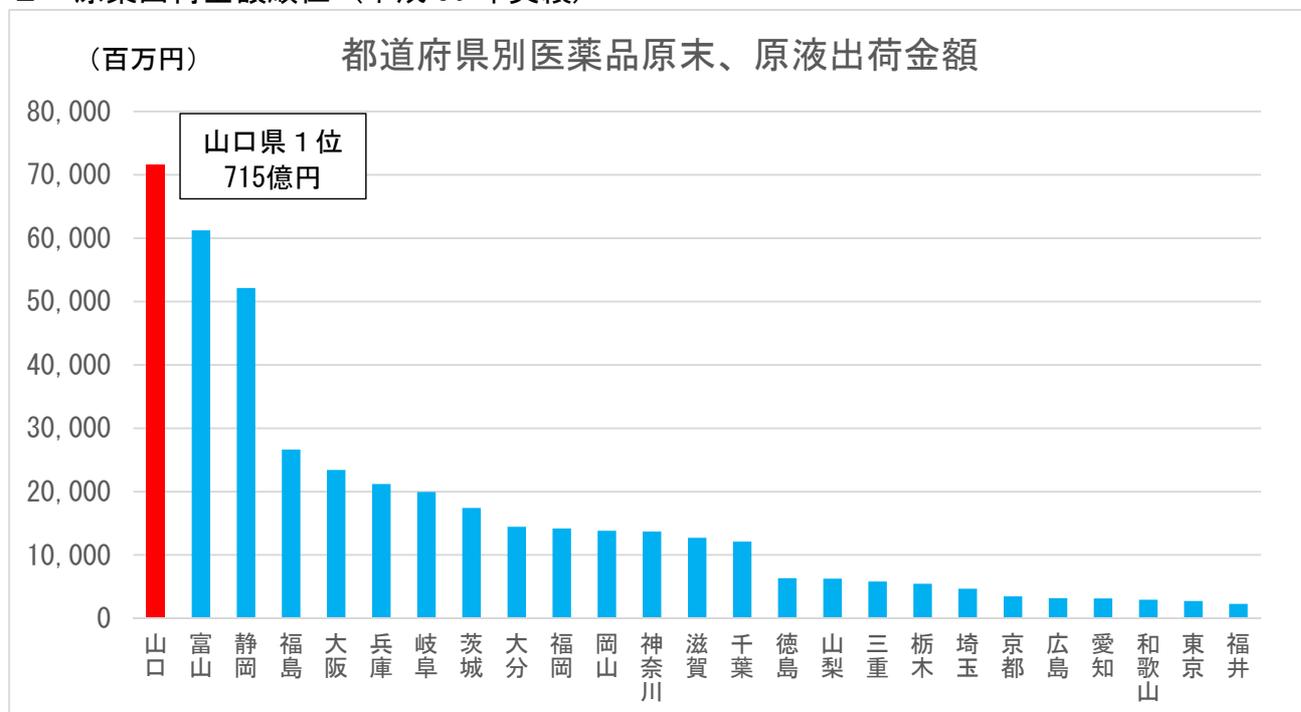
従事者：オンラインワークショップ等  
参加：延べ448名

## 1 医薬品最終製品生産額順位（令和元年実績）



1位 埼玉県、2位 栃木県、3位 静岡県、4位 富山県、5位 滋賀県、6位 兵庫県  
**7位 山口県**（出典：令和元年薬事工業生産動態統計年報（厚生労働省医政局））

## 2 原薬出荷金額順位（平成30年実績）



**1位 山口県**、2位 富山県、3位 静岡県、4位 福島県、5位 大阪府  
（出典：令和元年工業統計（経済産業省経済産業政策局調査統計部））